※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「書道Ⅱ」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだことを発展させて、篆書・隷書の臨書を通し文字の歴史を理解しましょう。
・篆書の学習を活かし、我印（姓名印）を作成し、作品に押印することで作品として形式が完成することを体験しましょう。
・様々な作品制作を通し、作品を作ることの楽しさ、他の人の作品を鑑賞することの楽しさを味わいましょう。
・書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図る。また表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・隷書・篆書を学び文字の歴史について理解し、書表現の多様性について理解を深めている。【知識】 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け表している。【技能】	・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の価値を考えたりし、書の美を味わい深くとらえている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	篆書隷書の学習	一、隷書の学習 1．隷書の成立と変遷 2.「曹全碑」の2文字臨書 二 1．篆書の学習 2．「泰山刻石」の２文字臨書	a:隷書・篆書の成立と変遷について理解を深め、文字の歴史についても理解している。(知識) a:篆書・隷書の特徴を捉え表現する技能を身に付けている。(技能) b:篆書・隷書が生まれた時代背景を考え、創造的に個性豊かに表現を工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関り、主体的に創造的活動に取り組もうとしている。	提出作品 文字の歴史プリント 確認テスト	提出作品 古典観察プリント 相互批評	振り返りシート 作品(提出作品以外)
	篆刻の学習	姓名印(八分)の制作 姓名印(三分)の制作	a:印の歴史と制作過程を理解する(知識)。印稿・布字・印影とそれぞれの段階で表現する技能を身に付けている。(技能) b:篆刻の表現の多様性について学び、表現を工夫しようとしている。 c:主体的に篆刻制作活動に取り組もうとしている。	提出作品(印稿・布字・印影)	提出作品 制作プリント	振り返りシート
二学期	横巻制作	5.4mの横巻に杜甫の漢詩「飲中八仙歌」154文字の行書作品制作	a:行書の技法や形式、書表現の多様性、使用している漢詩について理解を深めている(知識)。作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している(技能) b:画数の多い文字の処理の方法等を理解したうえで表現を工夫している。 c:紙の大きさ文字数とも膨大な量になる中、継続的に意欲をもって取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 ワークシート	振り返りシート 作品(提出作品以外)

※令和４年度以降入学生用

	一文字創作	半紙一文字創作 (自分にとって意味のある一字)	a:作品を作る楽しさ、様々な筆法、墨色等作品の構成要素について理解を深めている(知識)。蔵法、起筆の違い等の技能を身に付け表している(技能) b:線質、文字のデフォルメ、潤渇、遅速等の要素を組み合わせることで個性豊かに表現を工夫している。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 鑑賞レポート	振り返りシート 鑑賞レポート 作品(提出作品以外)
三学期	漢字かな交じりの書	カレンダー制作 色紙2枚(1～6月で１枚、7～12 月で1枚)を制作し、自室に飾り、書のある生活を体験する	a:書の表現や形式、書表現の多様性について理解を深めている(知識)。作品を効果的に表現するための技能を身に付けている(技能)。 b:書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、色彩を使うことで表現に変化をもたらし味わい深くしたりしている。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品	振り返りシート 鑑賞レポート 作品(提出作品以外)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度